

I「平和の祭典」としてのオリンピック

アインシュタインの核廃絶の呼びかけに応え、湯川秀樹などと一緒に活躍したイギリスの哲学者バートランド・ラッセルはオリンピックを20世紀最大の平和運動だと語った。

(1) 近代オリンピックの誕生

近代オリンピックは19世紀の末、フランスの教育者クーベルタンによって創設された。彼はなぜそれを考えたか。第一に普仏戦争とそれに続くパリコミューンにつながる内戦という戦争の悲劇を目の当たりにし、平和への願いを強く持ったからである。第二にルネサンス以来の古代ギリシアへの関心の高まりを背景とし、古代オリンピックへの関心である。第三にフランスの型にはめる教育と違う、イギリスの生徒を型にはめず自由に育てるパブリックスクールへの関心である。そしてスポーツの教育的価値に気が付いたからである。スポーツ競技会を開いて世界の学生たちの交流を深め、スポーツを国際的な平和運動に活かす考えが浮かんだ。そして1889年の第一回世界平和会議ののち、彼の



田所金久

オリンピックの光と影

(1)

呼びかけで、1894年にパリ国際アスレティック会議が開かれ、その5か月後の1894年6月23日近代オリンピックの創設とIOCの設立が決定された。

(2) オリンピックムーブメント

戦争は他国とその人々への無知と偏見から生まれる。それを克服するのがオリンピックであり、スポーツを通じて無知の克服、相互理解、友好と友愛の精神を高めて行く。この考え方を「オリンピック」と呼び、この実現のための活動が「オリンピック・ムーブメント」であり、オリンピック大会はその頂点に位置する活動である。単なる競技大会ではない。憲法的存在であるオリンピック憲章は、その「根本原則」に規定している。

1項 オリンピズムは肉体と意志と精神の資質を高め、バランスよく結合させる生き方の哲学である。

2項 オリンピックの目的は人間の尊厳に重きを置き平和な社会の推進を目指すために人類の調和のとれた発展にスポーツを役立てることである。

4項 スポーツをすることは人権の一つである。いかなる差別をされることもなく、友情、連帯、フェアプレーの精神と共に相互理解が求められる。

6項 オリンピック競技大会は、個人種目または団体種目での選手間の競争であり、国家間の競争ではない。(57国ごとの世界ランキングを作成してはならない)

オリンピックの3本柱は「スポーツ・文化・環境」で、大会開催以外に実施しているムーブメントはスポーツ倫理の普及、平和の推進、差別の撤廃、男女平等の推進、アンチドーピング、選手の健康の保護、スポーツをする権利の保障、スポーツと選手の政治的・商業的な悪用からの保護、環境問題への取組、レガシー(遺産)を残すこと、スポーツと文化と教育の融合など多様である。このように、オリンピックとは、金メダルを目指すして卓越を極めようとするだけでなく、お互いに友情を深め合い、国籍や人種を越えて尊敬しあい、究極目標として平和な世界を作り出すことに寄与しようとする平和の祭典である。20年の東京大会の標語は「よりよい未来へ、ともに進もう」である。

私は高校時代、卓球部顧問から「試合に臨んで一番大切なのは相手を尊敬する事である」と言われたことを忘れることが出来ない。

II オリ・バラの両立性

もう一つのオリンピック(もう一つのBarrio)オリンピックは「オリンピック開催都市は引き続きパラリンピックを開催しなければならない」とIOCとIPCの協定で決められ、2008年から実行されている。パラリンピックの価値は、「勇気・強い意志・インスピレーション・公平」であり、東京大会では22競技・540種目が実施される。(オリンピックは33競技・339種目)

しかし障がい者専用・優先施設は141しかなく、障がいの有無にかかわらずスポーツを楽しむ環境づくりが望まれている。また障がい者スポーツを通じて「共生社会」の実現が期待される。

III オリンピックの抱える問題点

オリンピックは平和・平等の理念を持っているが現実には問題点が多く深刻である。以下、箇条書き的に述べてみる。

① 勝利至上主義

多くのスポーツ競技は勝者と敗者を生み出すシステムになっている。その上に、マスコミは勝者を称え、褒めそやす。勝利至上主義から脱却するのは難しいことである。「自己責任」が強調される現在の新自由主義的風潮が重なり、これではスポーツの本質、オリンピックは失われる。オリンピックが「反スポーツイベント」になってしまう。本来スポーツには金メダルを頂点とする輝かしい峰と他人と繋がり健康を求める生涯スポーツ・地域スポーツの輝かしい峰が存在する。オリ・バラのひらかれる20年代の始まる年に、このことを深く考えたい。素晴らしい新国立競技場(1550億円・年間維持費24億円)はできたが、そのため立ち退かねばならなかった「社会的弱者」も存在する。経済的困難と老朽化し取り壊される地方のスポーツ施設の多い中、地方スポーツは会場確保に苦しんでいる。(裏面に続く)



記念碑 嘉納治五郎(上)クーベルタン(下)明台公園入口